

学術業績集（平成 22 年度）

原著論文

英文誌

- 1) XS Li, P Trojer, T Matsumura, JE. Treisman, N. Tanese: Mammalian SWI/SNF-A subunit BAF250/ARID1 is an E3 ubiquitin ligase that targets histone H2B2. **Molecular and Cellular Biology**, 30(7): 1673-1688, 2010.
- 2) T Yamada, K Mishima, N Moritani, D Janune, T Matsumura, Y Ikeya, T Yamamoto: Nasolabial morphological changes after a Le Fort I osteotomy: a three-dimensional anthropometric study. **Journal of Craniofacial Surgery**, 21(4): 1089-1095, 2010.
- 3) Shirasu N, Ueno T, Hirata Y, Hirata A, Kagawa T, Kanou M, Sawaki M, Wakimoto M, Ota A, Imura H, Matsumura T, Yamada T, Yamachika E, Sano K: Bone formation in a rat calvarial defect model after transplanting autogenous bone marrow with beta-tricalcium phosphate. **Acta Histochem**, 112(3): 270-277, 2010.
- 4) Matsubara M, Yamachika E, Tsujigiwa H, Mizukawa N, Ueno T, Murakami J, Ishida N, Kaneda Y, Shirasu N, Takagi S: Suppressive effects of 1,4-dihydroxy-2-naphthoic acid administration on bone resorption. **Osteoporos Int**, 21(8): 1437-47, 2010.
- 5) K Tai, JH Park, K Mishima, H Hotokezaka: Using superimposition of 3-dimensional cone-beam computed tomography images with surface-based registration in growing patients. **J Clin Pediatr Dent**, 34(4): 361-7, 2010.
- 6) K Tai, H Hotokezaka, JH Park, H Tai, K Miyajima, M Choi, LM Kai, K Mishima: Preliminary cone-beam computed tomography study evaluating dental and skeletal changes after treatment with a

mandibular Schwarz appliance. **Am J Orthod Dentofacial Orthop**, 138(3): 262.e1-262.e11; discussion 262-3, 2010.

- 7) Yamanishi T, Takao K, Koizumi H, Ishihama K, Nohara K, Komaki M, Enomoto A, Yokota Y, Kogo M: Alpha2-adrenoceptors coordinate swallowing and respiration. **J Dent Res**, 89(3): 258-63, 2010.
- 8) K. Kawata, S. Kubota, T. Eguchi, N. Moritani, S. Kondo, T. Nishida, S. Minagi, M. Takigawa: Role of the low-density lipoprotein receptor-related protein-1 in regulation of chondrocyte differentiation. **J Cell Physiol**, 222(1): 138-48, 2010.
- 9) Aikawa T, Haraguchi S, Tanaka S, Uematsu S, Ishibashi M, Kogo M, Iida S: Rotational movement of the anterior maxillary segment by hybrid distractor in patients with cleft lip and palate. **Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod**, 110(3): 292-300, 2010.

和文誌

- 1) 大倉正也, 平沼勉, 鏡内肇, 沢井奈津子, 飯田征二, 石井庄一郎, 相川友直, 古郷幹彦: 口腔扁平上皮癌の遠隔成績に与える予後因子 リンパ節転移を中心に. **日本口腔科学会雑誌**, 59(2): 68-78, 2010.

症例報告

英文誌

- 1) Yamada T, Mishima K, Ota A, Moritani N, Matsumura T, Katase N, Yamamoto T: A case of ATLL (adult T-cell leukemia/lymphoma) mimicking odontogenic infection. **Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod**, 109(6): e51-5, 2010.
- 2) Moritani N, Yamada T, Mizobuchi K, Wakimoto M, Ikeya Y, Matsumura T, Mishima K, Iida S: Atypical lipomatous tumor of the tongue: report of a case. **Acta Med Okayama**, 64(4): 257-61, 2010.

和文誌

- 1) 山田朋弘, 森谷徳文, 三島克章, 松村達志, 池田篤司, 菅原利夫: 下顎骨病的骨折を契機に診断し得た多発性骨髓腫の1例. 日本口腔外科学会雑誌, 56(2): 65-69, 2010.
- 2) 増田智丈, 磯村恵美子, 沢井奈津子, 岸野万伸, 飯田征二, 古郷幹彦: 埋伏歯を伴い上顎洞内に位置した限局性骨性異形成症の1例. 日本口腔外科学会雑誌, 56(3): 194-198, 2010.
- 3) 宮成典, 山西整, 西尾順太郎, 榎本明史, 飯田征二, 古郷幹彦: 両側性口唇顎裂を伴った septo-optic-pituitary dysplasia の1例. 日本口腔外科学会雑誌, 56(3): 179-183, 2010.
- 4) 向井隆雄, 高尾香名, 松浦麗華, 山田智明, 吉岡秀郎: 歯の脱落后に発症した放線菌感染を伴う上顎骨骨髓炎の1例. 日本口腔外科学会雑誌, 56(7): 428-431, 2010.

著書

- 1) 監修: リチャード レマー, 松尾龍二, 編集委員長: 皆木省吾, 編集委員: 窪木拓男, 佐々木朗, 白井肇, 高柴正悟, 長塚仁, 松香芳三, 山本敏男, 吉田登志子, 著者: Emilio Satoshi Hara, Wael Amgad Hassan, 有岡享子, 池田美紀, 江國大輔, 大森一弘, 沖和広, 黒坂寛, 白井肇, 神農泰生, 寺島周, 仲井雪絵, 長塚仁, 西山明慶, 藤田麻里子, 前田茂, 松香芳三, 松村達志, 丸尾幸憲, 皆木省吾, 村上純, 吉岡徳枝, 吉田登志子: チェアーサイド歯科英会話-分かる伝わるコミュニケーション!-. 吉備人出版, 61-68(シーン 36-38), 2010.

学会発表 (平成 22 年度)

国内

- 1) 松村達志, 三島克章, 森谷徳文, 脇本真理, 太田晃子, 池谷陽子, 合田裕, 飯田征二: 歯科インプラントの上顎洞迷入後に嗅覚障害を来した一例. 第39回(社)日本口腔外科学会中・四国地方会(徳島, 2010年5月22日, 11, 口演)
- 2) 水川展吉, 木股敬裕, 小野田友男, 武田斉子, 小野田聡, 江口元治, 仲田直樹, 渡部聡子, 松村達志, 長谷川健二郎, 高木慎, 飯田征二: 口腔癌切除後の再建術における皮弁咬傷防止対策. 第34回日本頭頸部癌学会(新宿, 2010年6月10日, 009, 口演)
- 3) 松浦麗華, 高尾香名, 向井隆雄, 美馬淳子, 吉岡秀郎: 口腔腫瘍切除後の創面に対するポリグルコール酸シート(PGAシート)およびフィブリン糊スプレーの使用経験. 第64回NPO法人 日本口腔科学会学術集会(札幌, 2010年6月24・25日, 示説)
- 4) 山近英樹, 松原正和, 喜多憲一郎, 武田斉子, 池谷陽子, 藤田佑貴, 松村達志, 水川展吉, 辻極秀次, 長塚仁, 飯田征二: マウス骨髄由来間葉系細胞の培養におけるLifおよびb-FGFの効果. 第64回NPO法人 日本口腔科学会(札幌, 2010年6月24・25, 2-P-21, 示説)
- 5) 松原正和, 山近英樹, 喜多憲一郎, 藤田佑貴, 平田泰久, 松村達志, 辻極秀次, 長塚仁, 飯田征二: 1,4-dihydroxy-2-naphthoic acid(DHNA)による骨吸収抑制効果についての検討. 第64回NPO法人 日本口腔科学会(札幌, 2010年6月24・25, 2-P-28, 示説)
- 6) 森谷徳文, 山田朋弘, 柳文修, 三島克章, 松村達志, 池谷陽子, 浅海淳一, 飯田征二: まれな病態を示した静止性骨空洞. 第64回NPO法人 日本口腔科学会(札幌, 2010年6月24・25, 示説, 1-P-61)
- 7) 池谷陽子, 三島克章, 森谷徳文, 長塚仁, 片瀬直樹, 山田朋弘, 松村達志, 合田裕, 飯田征二: 5歳男児に発生した歯牙腫を伴う石灰化のう胞性菌原性腫瘍の一例. 第64回NPO法人 日本口腔科学会(札幌, 2010年6月24・25, 1-P-60, 示説)

- 8) 平田泰久, 井上美穂, 高木慎, 玉村亮, 辻極秀次, 井上正久, 飯田征二, 長塚仁: 新規コーティング材 $\text{CaTiO}_3\text{-aC}$ の細胞生物学的・組織学的検討. 第 19 回 硬組織再生生物学会 (岡山, 2010 年 9 月 4 日, 口演)
- 9) 松村達志, 三島克章, 山田朋弘, 森谷徳文, 脇本真理, 太田晃子, 合田裕, 池谷陽子, 藤田佑貴, 前田彩, 飯田征二: 下顎骨後方移動術が舌骨の位置と睡眠呼吸状態に及ぼす影響. 第 55 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (千葉, 2010 年 10 月 16 日, 1-P-31, 示説)
- 10) 武田斉子, 山合友一朗, 水川展吉, 金田祥弘, 飯田征二: トルエン曝露によるマウス気管上皮に見られた上皮型ディフェンシンの発現変化. 第 17 回日本免疫毒性学会 (茨城, 2010 年 9 月 10 日, ST-01, 口演)
- 11) 合田裕, 三島克章, 森谷徳文, 山田朋弘, 植野高章, 脇本真理, 太田晃子, 松村達志, 池谷陽子, 飯田征二: 顎裂部骨移植後インプラント植立にて咬合形成した症例の臨床評価. 第 64 回日本口腔科学会学術集会 (札幌, 2010 年 6 月 24・25 日, 1-P-87, 示説)
- 12) 池谷陽子, 三島克章, 森谷徳文, 飯田征二: 三次元的顔面非対称度の評価方法. 第 31 回岡山歯学会総会・学術集会 (岡山, 2010 年 9 月 26 日, 1-5, 口演)
- 13) 喜多憲一郎, 松原正和, 山近英樹, 香川智正, 高木慎, 石田展久, 平田泰久, 藤田佑貴, 高畠清文, 飯田征二: OVX マウスにおける 1,4-dihydroxy-2-napthoic acid (DHNA) の骨吸収抑制効果について. 第 55 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (千葉, 2010 年 10 月 16 日, 2-P-103, 示説, ゴールドリボン賞受賞)
- 14) 松原正和, 喜多憲一郎, 山近英樹, 香川智正, 平田泰久, 藤田佑貴, 飯田征二: 1,4-dihydroxy-2-napthoic acid (DHNA) の骨吸収抑制メカニズムについての検討. 第 55 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (千葉, 2010 年 10 月 16 日, 2-P-102, 示説, ゴールドリボン賞受賞)

- 15) 山近英樹, 松原正和, 喜多憲一郎, 武田斉子, 池谷陽子, 水川展吉, 飯田征二: マウス骨由来間葉系幹細胞による骨再生の基礎的研究. 第 55 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (千葉, 2010 年 10 月 16 日, 2-P-10, 示説)
- 16) 川本知明, 飯田征二, 高尾香名, 池谷陽子, 喜多憲一郎, 金田祥弘, 石田展久, 高木慎: 下顎への外力作用時におけるマウスピースの装着の効果 三次元有限要素法による解析. 第 55 回 (社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (千葉, 2010 年 10 月 16 日, 口演)
- 17) 水川展吉, 木股敬裕, 小野田友男, 江口元治, 小野田聡, 山近英樹, 武田斉子, 松村達志, 竹内哲男, 高木慎. 実物大立体モデルと 3D-CT を用いた口腔悪性腫瘍における医科歯科連携顎骨再建. 第 48 回日本癌治療学会学術集会 (京都, 2010 年 10 月 29 日, OS076-7, 口演)
- 18) 藤田佑貴: 歯周病原細菌による宿主細胞応答の分子基盤. 第 3 回口腔環境制御研究カテゴリー集会 (長崎, 2011 年 2 月 4 日, 6, 口演)

学位授与 (平成 22 年度)

- 1) 石田展久: ダイナミン 2 は細胞分裂期において微小管と結合し細胞周期の進行に関与する
- 2) 脇本真理: Histological evaluation of human alveolar sockets treated with artificial bone substitute material(MASTERGRAFT® Granules).-A preliminary study- (人工骨補填材(MASTERGRAFT® Granules)を用いて治療を行ったヒト抜歯窩の組織学的評価－基礎研究－)

文部科学省科学研究費補助金 (平成 22 年度)

- 1) 水川展吉, 山合友一朗, 長塚仁, 高木慎: 基盤研究 (C) “ β デフェンシンを指標としたシェーグレン症候群の高感度遺伝子診断法の開発” 課題番号

22592215

- 2) 三島克章, 松村達志, 森谷徳文, 中野旬之: 挑戦的萌芽研究 “カオス理論を応用した口唇口蓋裂患者の口唇運動・言語機能統合診断法の開発” 課題番号 22659368